

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習センターESCO事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習センターの空調設備・照明設備	意図	ESCO事業により老朽化した設備を更新し、安定した施設環境を得ながら、環境負荷の大幅な削減・コスト削減等を図る。
事業内容	ESCO事業により、最新の空調設備・照明設備を導入し、かつ設備保有リスクをESCO事業者へ負担してもらうことで、管理者は他の施設経営に集中することが可能となり、更なる施設サービスの向上が期待できる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度にESCO事業の工事が行われ、平成26年度からESCO事業により更新した設備が稼働し、光熱水費を大幅に削減することができている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	削減検証額	8,770	8,731	8,742	千円	↑↑↑
②	生涯学習センターの年間高熱水費	9,735	10,993	11,688	千円	↓↓↓	決算書の光熱水費の金額	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 生涯学習センターの指定管理者から報告された決算書の光熱水費は、平成29年度10,993千円、平成30年度は11,688千円で、695千円の増額となったが、ESCO事業の実施による、本年度の削減検証額は削減検証額を上回っていることから、削減は達成された。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		17,620,551	17,574,651	17,538,651				
事業費(b)(円)		15,561,051	15,561,051	15,561,051				
うち一般財源		15,561,051	15,561,051	15,561,051				
職員給与と費(c)(円)		2,059,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	ESCO事業により、光熱水費の更なる削減を目指す。	③取組における課題(Check)	環境負荷をさらに削減する。
②H30に実施した取組(Do)	ESCO事業により光熱費の削減ができた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	ESCO事業によりコストの削減を図り、更なる施設サービスの向上を推進する。